

福島市小鳥の森通信

しじゅうから

小鳥の森で観察してみよう 154

アズマヒキガエル

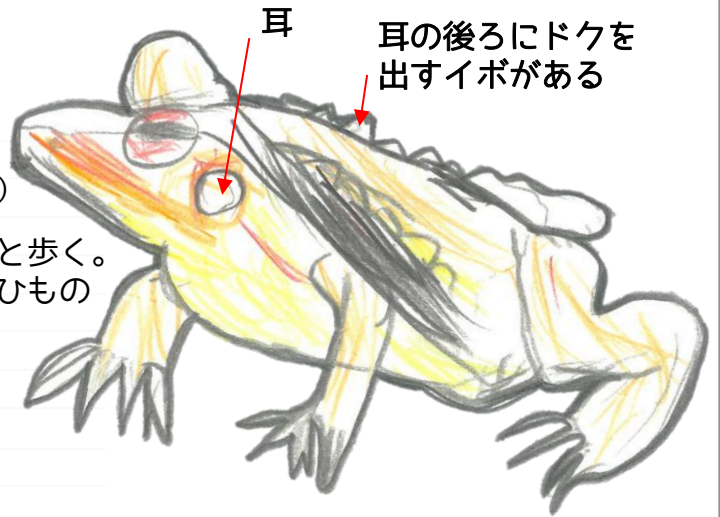
分類 無尾目 ヒキガエル科

大きさ：7～13cm（※小鳥の森の場合）

特徴：ピョンと跳ねずに、のそのそと歩く。
卵をつつむゼリー状の部分はひものように長い。

小鳥の森で見られる時期
・ 3月～10月

小鳥の森で見られる場所
・ 旧棚田などの水辺



たかはし たくみ（7才）さんが描いてくれました。

4月 いきもの森予報

足元でひっそりと目覚めるむらさき色の花

あたたかな日差しが心地よい4月。ネイチャーセンターのまわりや小径（こみち）ではスマレの花がひっそりと、しかし目を引くむらさきに色づいてさきます。小鳥の森では13種類のスマレの仲間が見られますが、その中でも見つけやすい種類をしょうかいします。

ナガハシスマレは花の後ろにある「距（きょ）」とよばれる蜜（みつ）をためる部分が長いことが特徴（とくちょう）です。天狗（てんぐ）の鼻に見立て「テングスマレ」ともよばれています。

タチツボスマレの花はうすむらさき色で、葉はハートの形をしています。距の形が大工さんの使う墨壺（すみづぼ）ににていることから名付けられました。

マキノスマレの花は濃（こ）いむらさき色をしています。葉が細長く、花がさいているところに裏返（うらがえ）すとむらさき色をしています。



ナガハシスマレ



タチツボスマレ



マキノスマレ

まじり合う季節

3月のはじまりには冬の寒さもありましたが、つもった雪は春のあたたかさで数日でとけました。

この冬、園内でほとんど見かけなかった冬鳥のツグミ。3月に入って急に観察（かんさつ）できるようになりました。ひらけた場所でエサをさがす姿（すがた）や「キョッキョツ」と鳴く声。そろそろ北に帰る準備（じゅんび）をしていたのでしょうか。

3月2日には地面の下から出てきたカタクリの葉を今年はじめて確認しました。毎年3月の終わりごろには花も見られます。小鳥の森の2カ所の群生地（ぐんせいち（同じ植物がまとまって生える場所））では、むらさき色の花が地面いっぱい咲きます。花の蜜（みつ）をさがす虫たちもカタクリ群生地に集まり、新しい命が動きはじめたことを感じられました。

冬と春が入りまじった3月。うつりかわる季節を目にすることができました。



ツグミ



カタクリ

自然のお便り

この鳥、日本だけなんです

わたしたちのまわりにいる野鳥。その中には日本だけで見られない種類がいることを知っていましたか。

もたろうのお話にも出てくるおなじみのキジ。国を代表する「国鳥」にも選ばれています。オスは赤・青・緑など目立つ美しい体の色をしています。田畑や川の近くで「ケ——ン」とひびく鳴き声を聞いたことがある人も多いでしょう。

また、キツツキの仲間のアオゲラも日本で見られませんが、30cmほどの大きさで背中が緑色をしています。小鳥の森にも一年中いて、木をつつく音が聞こえてきます。春になると「ピョ——」と大きな声でさえずります。

日本だけの特別な鳥たち。なんだか前より親近感（しんきんかん）がわきませんか。



キジ



アオゲラ

イベント報告

お山の大将あつまれ！

3月9日（日）に今年度最後の「お山の大将あつまれ！」を開きました。今回は「池の水を抜（ぬ）いてみよう」。

ネイチャーセンターのとなりにある池での活動でした。泥（どろ）を取りのぞくことで水質（すいしつ）を良くしたり水の中の様子を直接（ちよくせつ）調べることが目的です。あらかじめポンプで水をくみ上げておいた池に子どもたちが入り、泥だらけになりながら作業をしました。泥の中には小さな魚や外来種（がいらいしゅ（人間によって他の地域（ちいき）から持ちこまれた生き物））

のアメリカザリガニがいました。

水を抜くことで、いつもは観察できない池の環境（かんきょう）を知ることができた貴重（きちよう）な体験になりました。



水を抜いた池での作業のようす

*小鳥の森通信「しじゅうから」はホームページでカラー版をご覧になれます。

*園内の環境放射線量の詳細はホームページをご覧ください。

福島市小鳥の森（ネイチャーセンター） 開館時間：午前8時30分～午後5時

《入場無料》休館日：毎週月曜日（祝祭日の時はその翌日）

〒960-8202 福島市山口字宮脇98 Tel：024-531-8411 fax：024-534-8800

小鳥の森のホームページ・・・<http://www.f-kotorinomori.org/>

小鳥の森通信「しじゅうから」2025年4月号№465／企画・発行：福島市小鳥の森／NPO法人野鳥の会ふくしま



小鳥の森HP